



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 宮川 尚久
 (氏名) 酒井 宏之

TEL 03-3212-7021

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	42,137	8.6	2,326	75.7	2,106	69.4	1,504	47.6
27年3月期第1四半期	38,793	7.2	1,324	41.0	1,243	27.8	1,019	53.2

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,414百万円 (128.4%) 27年3月期第1四半期 1,056百万円 (△53.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.72	3.64
27年3月期第1四半期	2.52	2.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	211,155	70,964	32.7
27年3月期	207,317	70,581	33.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 69,149百万円 27年3月期 68,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,000	1.3	3,800	1.2	3,000	△11.8	2,000	3.8	4.95
通期	172,500	△0.0	9,000	0.8	7,500	13.6	5,000	△48.9	12.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	404,455,680 株	27年3月期	404,455,680 株
28年3月期1Q	375,858 株	27年3月期	373,806 株
28年3月期1Q	404,080,350 株	27年3月期1Q	404,124,835 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
平成28年3月期 第1四半期決算短信 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～同年6月30日)の我が国経済は、政府・日銀による財政・金融政策を背景に、企業収益に改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクには注意を要する状況でした。

このような経済状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は421億37百万円(対前年同期比33億43百万円増)、営業利益は23億26百万円(対前年同期比10億2百万円増)となりました。ロックドリル、金属ほかの部門で順調に増収、増益となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

産業機械部門の売上高は、32億88百万円(対前年同期比1億88百万円減)、営業利益は、2億23百万円(対前年同期比2億1百万円増)となりました。震災被災地における高台移転工事については減収となりましたが、破碎機等の一般産業機械やポンプ製品の売上が好調でした。

ロックドリル部門の売上高は、77億4百万円(対前年同期比13億70百万円増)、営業利益は、5億78百万円(対前年同期比3億97百万円増)となりました。国内向けは、旺盛な建設土木需要を背景に、油圧クローラドリルの出荷が好調で、東北復興工事向けトンネルドリルジャンボ関連の売上も大きく伸ばすことができました。海外向けは、主に北米、中近東向け油圧クローラドリルの出荷が好調に推移しました。

ユニック部門の売上高は、63億87百万円(対前年同期比2億33百万円増)、営業利益は、6億98百万円(対前年同期比55百万円減)となりました。普通トラックの好調な需要を背景に、ユニッククレーンの出荷を伸ばすことができました。

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械3部門の合計売上高は、173億80百万円(対前年同期比14億15百万円増)、営業利益は、15億1百万円(対前年同期比5億43百万円増)となりました。

金属部門の売上高は、208億90百万円(対前年同期比17億19百万円増)、営業利益は、4億81百万円(対前年同期比2億17百万円増)となりました。円安の影響による電気銅の売上増を主因として、増収となりました。

電子部門の売上高は、13億99百万円(対前年同期比1億44百万円減)、営業損失は、30百万円(前年同期は96百万円の利益)となりました。主力の高純度金属と素は、原発事故風評被害の影響で、未だ苦戦が続き、コイル製品は増収となりましたが、採算は大幅に悪化しました。

化成品部門の売上高は、15億17百万円(対前年同期比18百万円減)、営業利益は、73百万円(対前年同期比6百万円減)となりました。

不動産部門の売上高は、7億69百万円(対前年同期比3億85百万円増)、営業利益は、3億51百万円(前年同期は43百万円の損失)となりました。平成26年2月に竣工した室町古河三井ビルディング(商業施設名: COREDO室町2)の賃貸事業が本格稼働となり、増収となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は、21億6百万円(対前年同期比8億62百万円増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、15億4百万円(対前年同期比4億85百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、2,111億55百万円で前連結会計年度末に比べ38億37百万円増加しました。有利子負債(借入金)は、812億82百万円で前連結会計年度末に比べ7億71百万円減少しました。純資産は、709億64百万円で前連結会計年度末に比べ3億82百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,716	13,226
受取手形及び売掛金	24,757	22,641
商品及び製品	14,440	14,787
仕掛品	8,273	8,073
原材料及び貯蔵品	11,152	18,260
その他	6,431	7,432
貸倒引当金	△208	△206
流動資産合計	80,564	84,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,888	21,555
土地	55,300	55,226
その他(純額)	8,987	9,171
有形固定資産合計	86,177	85,954
無形固定資産	184	176
投資その他の資産		
投資有価証券	34,997	35,455
その他	6,109	6,076
貸倒引当金	△715	△723
投資その他の資産合計	40,391	40,808
固定資産合計	126,753	126,939
資産合計	207,317	211,155

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,098	15,239
電子記録債務	8,482	8,216
短期借入金	28,408	30,911
未払法人税等	876	329
引当金	981	1,000
その他	13,021	14,572
流動負債合計	63,870	70,269
固定負債		
長期借入金	53,644	50,370
引当金	1,686	1,685
退職給付に係る負債	6,874	6,961
資産除去債務	209	210
その他	10,450	10,693
固定負債合計	72,865	69,921
負債合計	136,735	140,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	30,257	29,772
自己株式	△57	△58
株主資本合計	58,408	57,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,427	10,079
繰延ヘッジ損益	△234	151
土地再評価差額金	3,654	3,624
為替換算調整勘定	1,262	922
退職給付に係る調整累計額	△3,735	△3,550
その他の包括利益累計額合計	10,375	11,227
新株予約権	53	53
非支配株主持分	1,745	1,761
純資産合計	70,581	70,964
負債純資産合計	207,317	211,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	38,793	42,137
売上原価	33,455	35,521
売上総利益	5,338	6,615
販売費及び一般管理費	4,013	4,289
営業利益	1,324	2,326
営業外収益		
受取配当金	200	237
その他	342	132
営業外収益合計	542	369
営業外費用		
支払利息	222	221
休鉱山管理費	139	119
その他	261	249
営業外費用合計	623	590
経常利益	1,243	2,106
特別利益		
固定資産売却益	3	51
受取補償金	432	—
事業譲渡益	529	—
その他	—	0
特別利益合計	965	51
特別損失		
固定資産除売却損	25	6
その他	0	—
特別損失合計	25	6
税金等調整前四半期純利益	2,183	2,151
法人税、住民税及び事業税	1,012	425
法人税等調整額	125	196
法人税等合計	1,138	622
四半期純利益	1,044	1,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,019	1,504

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,044	1,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	650
繰延ヘッジ損益	1	385
為替換算調整勘定	△245	△89
退職給付に係る調整額	170	184
持分法適用会社に対する持分相当額	△121	△245
その他の包括利益合計	12	885
四半期包括利益	1,056	2,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,043	2,387
非支配株主に係る四半期包括利益	13	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	3,476	6,334	6,154	19,171	1,543	1,536
セグメント間の 内部売上高又は振替高	657	4	25	93	3	12
計	4,134	6,338	6,179	19,264	1,547	1,548
セグメント利益又は損失 (△)	21	181	754	264	96	79

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	384	38,600	193	38,793	—	38,793
セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	831	429	1,260	△1,260	—
計	419	39,431	622	40,054	△1,260	38,793
セグメント利益又は損失 (△)	△43	1,355	△16	1,338	△14	1,324

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル (注) 1	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	3,288	7,704	6,387	20,890	1,399	1,517
セグメント間の 内部売上高又は振替高	628	0	21	92	35	13
計	3,916	7,704	6,409	20,983	1,435	1,530
セグメント利益又は損失 (△)	223	578	698	481	△30	73

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	769	41,957	179	42,137	—	42,137
セグメント間の 内部売上高又は振替高	33	826	385	1,212	△1,212	—
計	802	42,783	565	43,349	△1,212	42,137
セグメント利益又は損失 (△)	351	2,378	△10	2,367	△40	2,326

(注) 1. 前第3四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち「開発機械」を「ロックドリル」に名称変更しております。当該変更は、セグメントの名称変更のみであり、セグメント区分に変更はありません。また、前第1四半期連結累計期間についても変更後の名称で記載しております。

- 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
- セグメント利益又は損失(△)の調整額△40百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△27百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。
- セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前提

			対前年同期増減	
銅価	第1四半期決算	\$/mt	6,054	△ 733
	第2四半期累計予想	\$/mt	6,000	△ 890
	年度予想	\$/mt	6,000	△ 554
為替	第1四半期決算	円/\$	121.4	19.2
	第2四半期累計予想	円/\$	110.0	7.0
	年度予想	円/\$	110.0	0.1

平成28年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

2015年8月5日

古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年同期増減
	第1四半期	第1四半期	
機械部門	15,964	17,380	1,415
（産業機械）	(3,476)	(3,288)	(△ 188)
（ロックドリル）	(6,334)	(7,704)	(1,370)
（ユニック）	(6,154)	(6,387)	(233)
金属部門	19,171	20,890	1,719
電子部門	1,543	1,399	△ 144
化成品部門	1,536	1,517	△ 18
不動産部門	384	769	385
その他	193	179	△ 13
【合計】	38,793	42,137	3,343

平成28年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
36,800	1,087	78,900	2,909
(7,100)	(△ 698)	(18,500)	(1,787)
(15,400)	(1,084)	(29,300)	(△ 1,610)
(14,300)	(700)	(31,100)	(2,732)
39,300	△ 379	77,900	△ 3,613
3,000	△ 73	5,900	156
3,000	△ 17	6,000	△ 13
1,400	375	2,900	364
500	118	900	152
84,000	1,112	172,500	△ 44

〔営業利益〕

	平成27年3月期	平成28年3月期	対前年同期増減
	第1四半期	第1四半期	
機械部門	958	1,501	543
（産業機械）	(21)	(223)	(201)
（ロックドリル）	(181)	(578)	(397)
（ユニック）	(754)	(698)	(△ 55)
金属部門	264	481	217
電子部門	96	△ 30	△ 126
化成品部門	79	73	△ 6
不動産部門	△ 43	351	395
その他	△ 16	△ 10	5
（計）	1,338	2,367	1,028
調整額	△ 14	△ 40	△ 26
【合計】	1,324	2,326	1,002

平成28年3月期			
第2四半期累計予想	対前年同期増減	年度予想	対前年増減
2,350	△ 344	5,800	△ 751
(0)	(△ 404)	(1,100)	(△ 611)
(650)	(115)	(1,000)	(△ 225)
(1,700)	(△ 55)	(3,700)	(85)
900	209	2,000	550
50	△ 65	100	47
100	△ 45	200	△ 67
500	314	1,100	323
△ 70	△ 12	△ 120	10
3,830	55	9,080	111
△ 30	△ 11	△ 80	△ 37
3,800	44	9,000	74